

オリンピック・パラリンピック等国際大会に係る
キャンプ地招致の進捗状況について（その2）

東京2020オリンピック大会に係るキャンプ地招致について、新たに1つのキャンプの受入れが内定しました。

また、ラグビーワールドカップ2019™については、公認チームキャンプ地契約を正式に締結したほか、具体的な受入れチームが決定しました。

1 東京2020オリンピック競技大会

(1) 受入れチーム

インドネシア 空手代表

(2) 進捗状況

インドネシア空手道連盟関係者が2018年8月14日から16日にかけて来日し、事前キャンプの開催について覚書を締結しました（2018年8月27日）。

※覚書については、インドネシア空手道連盟関係者の帰国後、同連盟会長からも署名をいただいております。

(3) 事前キャンプ概要

使用施設：町田市立総合体育館又はサン町田旭体育館

実施時期：2020年7月中旬（想定）、期間は1週間程度

(4) 今後の動き

インドネシア空手代表の大会出場権獲得の見通し状況も踏まえつつ、地元交流事業等の詳細について事務的な協議を進め、2019年9月末までにキャンプ地契約を取り交わします。

<東京2020オリンピック競技大会 空手競技について>

- ・競技日程 2020年8月6日～8月8日
- ・競技会場 日本武道館
- ・出場選手数 男女各40人 ※形、組手（3階級）各10人
- ・予選方式 2020年4月時点のオリンピック予選用ランキング上位4人が出場権を獲得するほか、2020年5月にパリで開催予定の予選大会や開催国枠等を加味して、各階級10人の出場が決定されます。

2 ラグビーワールドカップ 2019

(1) 受入れチーム

ナミビア代表

(2) 進捗状況

町田市は、2018年4月20日にアフリカ地区代表の公認チームキャンプ地としてラグビーワールドカップ2019組織委員会から内定を受けており、2018年7月19日付で同委員会と正式に公認チームキャンプ地契約を締結しました。

その後、2018年6月16日～8月18日に行われたアフリカゴールドカップの結果、ナミビア代表が優勝し、アフリカ地区代表として出場権を獲得しました。

(3) キャンプ実施概要

公認チームキャンプ地に関する具体的なトレーニング施設、宿泊施設、滞在期間等は、ラグビーワールドカップ2019組織委員会の依頼により、非公開となっています。

(4) 今後の動き

今後、2019年3月までを目途に、チームによる使用施設等の視察の受入れを行います。視察受入れ後は、具体的なキャンプの運営計画や地元交流事業等について事務的な協議を進め、詳細を決定していきます。

<ラグビーワールドカップ2019について>

・開催期間 2019年9月20日～11月2日

・ナミビア代表の試合日程

(プール戦)

①9/22 対イタリア (東大阪市花園ラグビー場)

②9/28 対南アフリカ (豊田スタジアム)

③10/6 対ニュージーランド (東京スタジアム)

④10/13 対敗者復活予選優勝チーム (釜石鶴住居復興スタジアム)

(決勝トーナメント)

※各プール上位2チームが決勝トーナメント進出

3 その他

引続き、他のオリンピック・パラリンピック競技種目についてもキャンプ地招致活動を展開していきます。